

【種別】

ネタ・[闘争の渦](#)

【解説】

XIII巻で[フィレス](#)が[吉田一美](#)に謎の宝具『[ヒラルダ](#)』を渡したことに端を発する論争。この話題が出るとほぼ確実に場の雰囲気が悪化する。

まだどのような説も想像の域を出ないにも関わらず、断定的に主張する者、主張に煽りを入れなければ気が済まない者、奇妙なほど必死に主張する者、自演する者、便乗して釣りに使う者などが高確率で集うため、小規模な[闘争の渦](#)となっている。

そもそも[ヨーハン](#)が復活可能なのかどうかすら定かでない現状では、フィレスの行動に隠された企みなど推測の上に推測を重ねるしかないのだが、[闘争の渦](#)に囚われた者にはそのような言葉は届かない。

考察の材料が限られているため、議論は短いスパンでループする傾向にあり、このあたりも渦と呼ぶにふさわしい様相を呈している。

上にはXIII巻以降の話題と書かれているが、実はそれ以前からも語られており、

「[フレイムヘイズ](#)になってこそ、[シャナ](#)と対等になれる」

「なったところで戦力にならない」

「探索など、補助に回れば……」

と、擁護派と否定派の永きに渡る戦いが繰り広げられていたが、結局は最終巻で誰とも契約しなかった。

【コメント】

[神](#)の一柱と契約して活躍してほしかった。

最終巻でフィレスはおるか誰とも契約しなかった。